

# ノスタルジック・毛馬内



毛馬内・本町通り



幽玄な舞・毛馬内盆踊

かつての藩主である南部氏は、藩の西端である毛馬内の地に、秋田・津軽両藩への備えとして城を築きました。現在の街並みの原型は、城が築かれた約400年前にできたとされます。城の建設にあわせ、町人町として整備された「本町通り」は、通りに庇をのぼす“こもせ”と呼ばれるアーケードのような町屋建築が残っています。

この本町通りを会場に、毎年8月21日から23日、「毛馬内の盆踊」が開催されます。男女とも手拭で頬被りして顔を隠し、かがり火を囲んで踊ります。鼓笛のリズムにあわせて踊る「大の坂」、唄のみにあわせて踊る「甚句」の2つの踊りがあり、優雅で情緒豊かな盆踊りとして、国の重要無形文化財に指定されています。

## アクセスとお問い合わせ

### ◎アクセス

#### お車でお越しの際

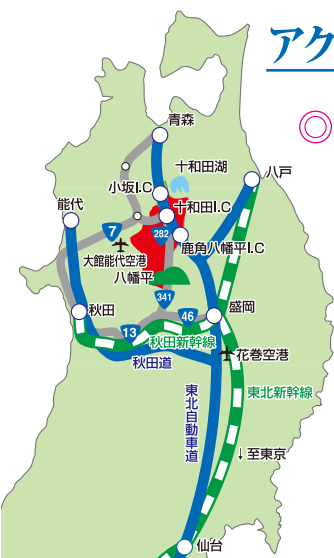
東北自動車道→鹿角八幡平IC、十和田IC、小坂IC

#### JR・新幹線でお越しの際

JR盛岡駅→JR鹿角花輪駅、JR十和田南駅、他  
JR盛岡駅から高速バスも有

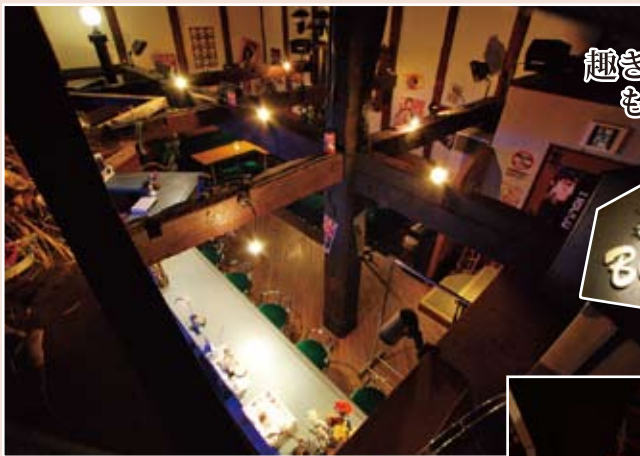
#### 飛行機でお越しの際

東京・羽田空港⇒大館能代空港→(リムジンバスで)JR大館駅→JR鹿角花輪駅



### ◎お問い合わせ

ロケーションかづの連絡窓口〈社十和田八幡平観光物産協会〉  
TEL:090-9037-4908 FAX:0186-23-7715  
<http://www.locationkazuno.net/>



趣きのあるバー  
もあります



↑→毛馬内の片隅にひっそりとたたずむ「酒蔵・Beehive(ビィハイヴ)」。安政四年築(!)という本物の土蔵を改装した、お洒落なバーです。店内に張り巡らされた柱が趣きを感じさせます。音楽好きが集うことでも有名で、店内で演奏する人の姿も。



## 編集後記

鹿角地域を皆さんにご紹介して早6号。今回は私の生まれ育った街・毛馬内を特集しました。商店街である本町通りには、昔は魚屋さん・豆腐屋さん・本屋さんなどもありましたが、それらがなくなった今でも、どこか昭和なつかしい雰囲気を漂わせている街並みだと思います。住んでいる街なのに、歩くといつもノスタルジックな気分になってしまう…。毛馬内はそんな街なのでした。

(編集長・Y)

制作協力

しかタウンねっと

<http://www.shikatown.net/>



↑本町通りにある「毛馬内盆踊」のモニュメント



↑青空が映える、どこまでも続くかのような田舎道



→真ん中にそびえるのが、毛馬内富士と呼ばれる茂谷(もや)山

